

- 市民と市長との意見交換会の内容要旨
 令和元年8月24日 四番丁コミュニティセンター
 テーマ 地域共生社会の実現に向けて

No	御意見等	回答
1	<p>説明にあった、「地域みんなで助け合う仕組みづくり」について、支えあいサービスを遠慮する人もいると思うので、そういった人たちが気軽に利用してもらえるよう、もっと動画等のPRを行ってほしい。</p>	<p>周知啓発は大事であり、御意見として承り、今後の取組に反映させてまいりたい。</p>
2	<p>例えば、保育や介護の現場で、短時間でも高齢者の力を借りれば、高齢者の就労機会の創出につながるし、また、施設職員の負担軽減にもつながるのではないか。</p>	<p>保育や介護の現場で、補助員として、元気な高齢者に働いてもらうというのは非常に有効なことであり、国の審議会でも議論されている。</p> <p>介護補助を少し入れるだけで、介助がスムーズになるし、介護士の負担も軽減される。</p> <p>保育についても、子育てを経験した高齢者がちょっと手伝ってくれば、保育現場もよくなる。</p> <p>今後、どういうことができるか考えてまいりたい。</p>
3	<p>子ども食堂を運営しているが、想像を超えた貧困状況にある子どもを目にする。</p> <p>現状スクールソーシャルワーカーからの情報提供をきっかけに、子どもを食堂に誘っているが、潜在的な貧困家庭を把握するため、行政と情報を共有する仕組みづくりが必要である。</p>	<p>まさに、地域共生社会実現のための取組の一つである、まるごと福祉相談員のアウトリーチ活動によって把握していけばということになるのだが、そのシステムづくりをしっかりとやってまいりたい。</p> <p>また、そのような状況を改善するため、子ども食堂のネットワークづくりをやっていこうとしているのだが、市もしっかりとバックアップしてまいりたい。</p>

テーマ以外で

No	御意見等	回答
1	<p>市街地のコミュニティセンターは、災害時には、そのほとんどが避難所となるが、エレベーターがないところや、駐車場が狭いところが多く、高齢者のためにも改善してもらいたい。</p> <p>避難所となるコミュニティセンターも多く、都合が悪いと思う。</p>	<p>高齢化社会を迎える中、できるだけバリアフリー化は必要である。</p> <p>施設を整備するとなると、財政面でなかなか難しい。ただ、できるだけことはやりたいと思う。</p> <p>駐車場についても、市街地については、スペースの問題等もあり、かなり厳しいと考える。</p> <p>できるだけ公共交通の利用を考えていただきたい。</p>
2	<p>高松は他の地域から人を呼び込む魅力があるだろうか。高松に住み続けたいと思ってもらえるような独自の取組が必要である。</p>	<p>瀬戸内国際芸術祭が始まったぐらいから、若い世代を中心に、お金だけではない豊かな生活を地方で送ることができる、都会志向の考え方が変わってきていると感じる。</p> <p>高松市もことをもっとPRしていくことを考えていきたい。</p> <p>また、例えば、地域共生社会が実現し、地域で支えあうこととなれば、子育てしやすくなり、よりまちとしての魅力も高まると考える。</p>

No	御意見等	回答
3	<p>自費扱いとなっている予防接種ワクチンについて、少しでも公的補助があれば、子育て世代の家計負担軽減となり、子どもを産み育てやすいまちを創ることにつながると思う。</p>	<p>子ども子育て支援施策で中心となるのは、経済的負担の軽減であり、一番重要視されているのは医療費負担である。</p> <p>高松市では、令和2年4月から中学校通院についても、医療費を無償化する予定である。</p> <p>予防接種については、まずは定期接種を、しっかりやっ ていこうと取り組んでいるところであり、任意接種ワクチンの補助については、課題の一つとして認識しているが、財政的な課題もあり、今後検討させていただきたい。</p> <p>【その後の対応】</p> <p>これまで任意接種であったワクチンのうち、ロタウィルスワクチンについては、国において、令和2年10月から定期接種の対象とされることに伴い、本市においても、定期接種化することとして、令和2年度に関係予算を計上しようとしている。</p> <p>また、令和2年度から、骨髄移植等による免疫消失者の任意予防接種について、公費による助成を行うことを予定しており、関係予算を計上しようとしている。</p>